

令和 7 年度 新技術社会実装支援プログラム（第二次締切分）
（令和 7 年 5 月 16 日付で認定を受けた支援プログラムの概要）

支援プログラム名称	実施期間	対象事業区分	支援プログラムの概要	申請額
物流課題を解決する新技術社会実装支援プログラム	令和 7 年 7 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日	実証実験支援	人手不足や労働環境の悪化等物流の課題を解決する新技術の社会実装を支援します。新技術を有するスタートアップと物流業界の大手企業とのマッチング機会を提供し、実証実験支援と協業促進を行います。 物流分野のスタートアップが物流業界大手企業のアセットを活用して行う実証実験を支援します。有望な技術を持ったスタートアップを最大 3 社選定し、実証実験のコーディネート及びスタートアップに資金提供を行います。想定する技術は、倉庫内のピッキング・仕分け・無人搬送等のロボティクス技術や在庫管理システムに活用するセンサーや AI 技術等です。	24,000,000 円
		マッチング・共創機会の提供	大手企業が提供できるアセットやマッチングニーズを披露し、スタートアップが協業提案するかたちで大手企業とスタートアップをマッチングします。有望な提案をしたスタートアップを最大 3 社選定し、協業に向けた個別検討を行います。コーディネーターが両者の協業検討に同席し、伴走支援します。	7,800,000 円
Nakanoshima Qross におけるスタートアップ育成加速事業	令和 7 年 7 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日	実証実験支援	医療機関、PMDA、研究組織、医療系企業が一つ屋根の下に集積し、一気通貫で研究開発を臨床応用・社会実装につなげることが可能な Nakanoshima Qross の強みを活かし、令和 7 年度はプログラム医療機器等を含む医療機器を中心としたサービス開発を進めるアーリー期以降のスタートアップ企業の育成加速を実現します。 スタートアップ企業は、常に実証取組の「場」及び、「ユーザー」を獲得することが困難であるという課題を抱えています。この課題を解決するために大阪府内の自治体、医療機関、健康経営実践企業等との連携を仲介し、スタートアップ企業に実証取組の「場」を提供するとともに、「ユーザー」を集める取り組みを支援し、スタートアップの次世代サービスの開発・改良、薬事承認取得のための効果検証、市場展開につながる機会を創出します。	70,000,000 円

令和 7 年度 新技術社会実装支援プログラム（第二次締切分）
（令和 7 年 5 月 16 日付で認定を受けた支援プログラムの概要）

Nakanoshima Qross におけるスタートアップ育成加速事業（再掲）	令和 7 年 7 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日 （再掲）	マッチング・共創機会の提供	スタートアップ企業は、常にサービス開発、改良、展開のための実証取組の「資金」を調達することが困難であるという課題を抱えています。この課題を解決するためにベンチャーキャピタル、金融ファンド、国内外投資家とのマッチングイベントの実施を通じて資金調達につながる商談機会を提供するとともにスタートアップ技術の社会実装実現に向けた連携先となりうる企業、組織、団体との共創機会とそのための「場」を提供します。	30,000,000 円
		伴走支援	スタートアップ企業は、薬事承認取得、会社立上げ、経営管理制度の整備、労務管理基盤の整備、営業機会の開拓など多岐にわたる課題を抱えています。これらの課題解決を支援するため、有望なシーズを持つスタートアップを選定し、経営課題を分析した上で、分析結果に基づく処方箋を作成し、One on One でのメンタリング・ハンズオン型伴走支援を行います。	30,000,000 円
若手人材を対象としたテッククリエイター育成事業	令和 7 年 7 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日	実証実験支援	大阪を拠点にテクノロジーを活用した新たなサービス創出に取り組む大学生や若手起業家（以下「テックスタートアップ」という）を対象に、社会実装や PoC に向けたプロジェクトを募集・選考し、海外の展示会への出展等を支援します。	25,000,000 円
		伴走支援	プロジェクトの計画作成から実証にあたって、当法人会員企業の経営者や技術者等が中心となって伴走支援し、テックスタートアップ特有の“技術はあるが、ビジネス化のノウハウがない”という課題に対して、起業前の早い段階から効果的にビジネススキルや経営ノウハウを伝え、海外市場も視野に入れたスタートアップを創出します。	50,000,000 円